

高等学校 令和4年度(2学年用) 教科

福祉 科目 介護過程

教科: 福祉科

科目: 介護過程

単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 4組～ 組

使用教科書: ()

教科 福祉

の目標:

【知識及び技能】福祉分野について、体系的・系統的に理解するとともに関連する技術をみにつけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会生活を目指して学び、発展的、協働的の社会に取り組める態度を育

科目 介護過程

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
福祉に関する教科で学んだ知識と技術を統合し、個別支援の意義、役割を理解するとともに生活における継続的な支援が行えるよう技術力の向上ができる。	個別的な生活支援を展開する上で、生活導線や身体、精神面の変容に気づける観察力を高め、専門用語を用いた記録(表現)力を養う。	生活を支援する専門職として、生活上の課題に気づくことができ、計画を修正展開できる解決力を習得できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 介護過程が目指すもの P8 第1節 根拠に基づいた生活支援 第2節 介護過程の意義 第3節 介護過程の目的・基本視点 【知識及び技能】 生活支援に関する技術は根拠にもとづいて行われていることを理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 個々によって、生活スタイルが異なるため、ニーズに沿った支援に着目する 【学びに向かう力、人間性等】 生活支援を行ううえで、生活動作から求められる支援を考察できる。	指導事項 ・基本的生活を理解できる ・個別ケアの必要性が理解できる 教材 実教: 介護過程 中央法規: 介護過程 ・事例等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 利用者の方の残存能力を引き出せるよう、誘導的コミュニケーションの技術力を高められる 【思考・判断・表現】 介護者としてサービスを提供するため、課題意識をもって会話や動作から観察でき、情報の取り方を整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 観察から知りえた情報やこれまでの情報を統合し現状に繋げた日々の記録に取り組める、	○	○	○	10
	介護過程の展開 実教P22 第1章 情報収集とアセスメント 第2章 生活課題と目標設定 【知識及び技能】 利用者の方にかかわる情報収集の取り方や意図的なコミュニケーションを用いた収集方法の違いが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活に関する課題を整理するために関連図作りを行い考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 日々の状態を把握するための動作、観察した現状を記録へ繋げる。	指導事項 ・介護過程の意義、目的を理解させる ・意図的な情報収集の取り方 ・情報から生活背景がわかる ・生活課題を捉える 教材 実教: 介護過程 中央法規: 介護過程 ・事例等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 利用者の方にかかわる情報収集の取り方や意図的なコミュニケーションを用いて収集方法の違いを習得する。 【思考・判断・表現】 生活に関する課題を整理するために、色別を用いて関連図作りを行い整理することで、課題が明確化できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の学習時から、様々な書式に合わせた表現 専門用語を用いた文章を書き、構成力を培うことができる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	介護過程の展開 実教P48 第3章 介護計画の立案 第4章 課題計画の実施と評価 【知識及び技能】 生活全体を把握し、課題を整理するための解釈、統合、計画立案の仕組みがわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活に関する課題、直接、間接など課題に優先順位を付けた計画の考察ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 計画に沿った支援から得られた、情報を記録へ繋げられ考察できる。	指導事項 ・介護過程の意味を理解させる ・利用者の願いと必要性の区分について理解させる ・専門職としての情報共有、連携をとる必要性がわかる。 教材 実教: 介護過程 中央法規: 介護過程 ・事例等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 生活全体を把握し、課題を整理するため解釈、統合、計画立案の一連の仕組みが理解できる。 【思考・判断・表現】 生活に関する課題に命に関連する課題などに優先順位を付けられ計画が立案できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 計画に沿った支援から得られた情報を記録し現状に沿った立案ができる。	○	○	○	26
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	<p>介護過程の実践 実教P78 第1章 介護過程の展開の実際 ・再アセスメント ・修正</p> <p>【知識及び技能】 日々の生活上の課題を観察や記録から情報取ため、修得力を高める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日々の生活から課題が変わっていくことがわかり、支援時の些細な変容に気づけ、記録に繋がられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報共有し計画を遂行するための関係性を築けるよう、日々の生活のなかから観察力、洞察力を磨ける。</p>	<p>指導事項 ・介護計画に基づいた支援の展開が理解できる。 ・日々の支援内容を記録に繋がることわかる。</p> <p>教材 実教：介護過程 中央法規：介護過程 ・事例等 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 日々の生活上の課題を観察や記録から情報取ため修得力が習得できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活に関する課題目標に優先順位を付けることができ、サービス提供時の様子を専門的視点、思考過程を表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 計画に沿った支援から得られた、情報を記録へ繋げ、展開ができ修正に繋がられる。</p>	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
						合計	70